

## 出資法人等経営状況報告書

### 1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和7年8月22日	担当部署	文化観光部 観光振興課
-------	-----------	------	-------------

※以下は令和7年3月31日現在の内容です。

### 2 法人等の概要

法人名	株式会社 みなもとの郷		
代表者	代表取締役 内藤 潔		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤 <input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他	
所在地	新潟県上越市吉川区坪野 1458 番地 2		
設立年月日	平成12年2月9日		
資本金	10,000 千円	市出資割合	51.0%
設立目的	吉川区源地域を中心とした中山間地の地域振興を目的に市の所有若しくは管理する不動産及び入浴施設その他の施設の管理運営を行うため。		
主な事業	(1) 吉川スカイトピア遊ランドの管理運営 (2) 吉川地域バス運行事業の運行业務委託 (3) 吉川観光協会の事務受託 (4) 尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会の事務受託		

### 3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	1	5	6	6	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	1	6	7	7	0	0

### 4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	5	5	0
その他	14	14	0
計	19	19	0

## 5 事業実績（概要）

### 【第26期の経営状況】

- ・ 第26期の売上高は、前期と比較して2,535千円減（4.9%の減）の48,747千円となりました。食堂や入浴などの日帰り利用者は増加したものの、田舎体験事業も含めた宿泊者の減少に伴い、売上高も減少しました。
- ・ 売上原価は、原材料が高騰した一方、売上高の減少に伴い、前期と比較して150千円減（1.5%の減）の9,899千円となりました。
- ・ 販売費及び一般管理費は、前期と比較して1,475千円減（3.4%の減）の42,207千円となり、最終的な当期純利益は△3,428千円の赤字となりました。

### 【主な取組内容】

- ・ ゲートボール大会のほか、遊ランド杯パラグライダー大会など各種大会の開催により、施設の利用促進につなげました。
- ・ また、尾神しだれ桜まつりや山菜まつり、新酒を楽しむ会などイベントも開催し、売上確保のほか地域活性化にも努めました。
- ・ 経費削減の取組として、より安価な食材の調達に努めたほか、細かな努力の積み重ねにより水道光熱費の削減に努めました。
- ・ 吉川地域バスの運行事業では、安心安全な運行に努めるとともに、公共交通の空白地域において、沿線住民の生活を側面から支えました。
- ・ 吉川観光協会の事務局として各種イベントを開催したほか、道の駅よしかわ杜氏の郷で尾神そば直売店の運営を行い、地域活性化に取り組みました。

### 【吉川スカイトピア遊ランドの利用実績】

（単位：人）

		第24期	第25期	第26期
宿 泊		1,474	1,685	1,450
休 憩（食堂）		2,898	3,614	4,161
体験交流 センター	入館者 （入浴）	2,279	3,236	3,515
	体験者	492	235	314
小 計		7,143	8,770	9,440

- ・ 第26期の利用者数は9,440人となり、前期と比較して670人の増（7.6%の増）となりました。しかしながら、宿泊の利用者は1,450人となり、前期と比較して235人の減（13.9%の減）となりました。

## 6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目	第 24 期	第 25 期	第 26 期	
	自 令和 4 年 4 月 1 日 至 令和 5 年 3 月 31 日	自 令和 5 年 4 月 1 日 至 令和 6 年 3 月 31 日	自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日	
損益計算書	売上高	54,713	51,282	48,747
	売上原価	8,960	10,049	9,899
	売上総利益	45,752	41,233	38,848
	販売費及び 一般管理費	45,994	43,682	42,207
	営業利益	△242	△2,449	△3,359
	営業外収益	0	0	1
	営業外費用	0	0	0
	経常利益	△242	△2,449	△3,358
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	△242	△2,449	△3,358
	法人税等	70	70	70
	当期純利益	△312	△2,519	△3,428
項 目	令和 5 年 3 月 31 日現在	令和 6 年 3 月 31 日現在	令和 7 年 3 月 31 日現在	
貸借対照表	資 産	14,450	11,608	9,977
	負 債	4,467	4,145	5,941
	純資産	9,983	7,464	4,035
	資本金	10,000	10,000	10,000
	利益剰余金	△17	△2,536	△5,965
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

## 7 市からの財政支出等

### (1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
①	吉川スカイピア遊ランド 指定管理委託料	11,473	8,797	7,297	
②	吉川地域バス運行业務 委託料	3,444	3,442	3,469	
計		14,917	12,239	10,766	

### (2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
①	補助金 (助成金)	1,661	300	0	
	時短要請協力金	1,125	0	0	
	第4次事業者経営支援金	100	0	0	
	イノベーション事業補助金	436	0	0	
	上越市エネルギー価格高騰 支援金	0	300	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 (補填金)	1,054	1,088	497	
	エネルギー価格高騰補填金 (指定管理)	807	679	0	
	シニアパスポート減免補填 金	247	388	497	
	能登半島地震補填金	0	21	0	
計		2,715	1,388	497	

## 8 市以外からの補助金・助成金等

### (1) 受給額 (税込)

(単位：千円)

内訳		令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
①	特別求職者雇用開発助成金	0	700	0	労働局
②	事業復活支援金	600	0	0	中小企業庁
③	その他	0	0	0	
計		600	700	0	

## 9 今後の経営計画等

### (1) 次期事業計画

#### 【第27期事業計画】

- ・ 役職員の相互協力による営業努力と経費削減に努めるとともに、引き続き、地域活性化の中核会社と位置付け、スカイトピア遊ランドの管理運営事業を主要事業とし、諸事業等の持続性を第一に考えて進める。
- ・ このほか、地域バス運行業務やよしかわ道の駅におけるソバ直売店の運營業務などにより、雇用の場の創出と地域の活性化を図りながら地域福祉の向上に貢献する。
- ・ コロナ禍を経て「新しい生活様式等」がどんどん変わりつつある中、人件費をはじめ諸物価や光熱水費に至るまで値上がり傾向が続いていることから、事業の継続化が図られるよう取り組む。
- ・ 負債の段階的な解消に向け、リピーターによる利用のほか、新規顧客の獲得に力点を置きながら、市との協議・連携を深め、事業の持続化に努める。

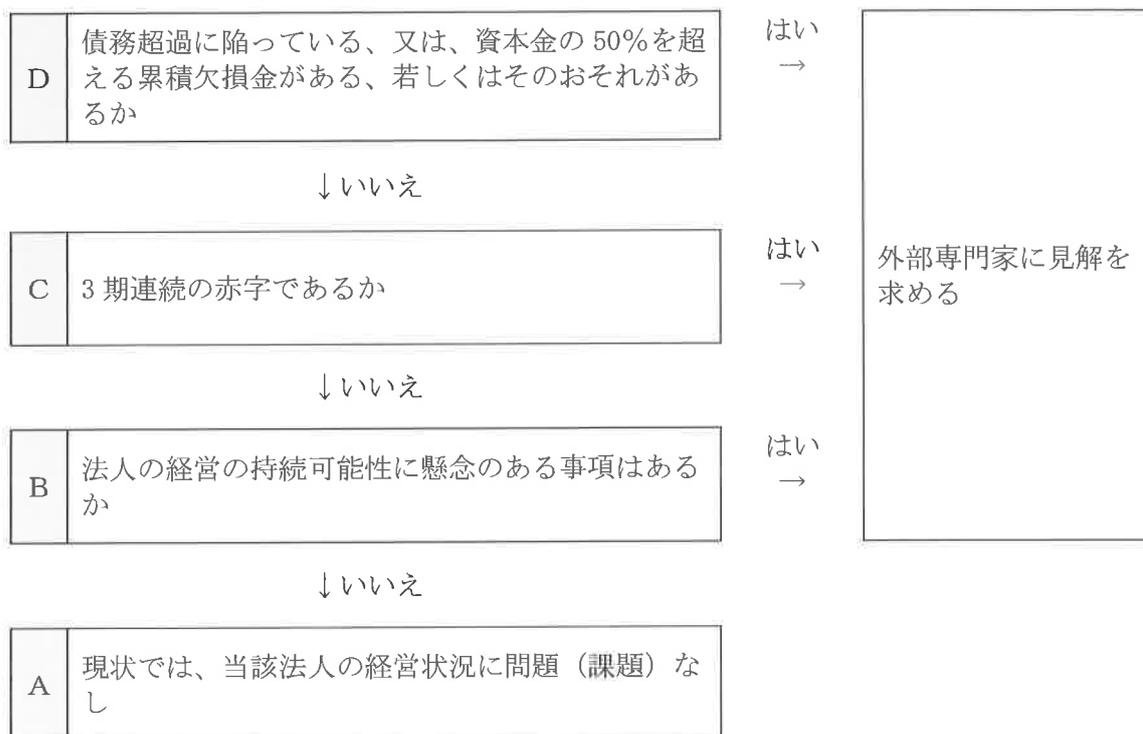
### (2) 中長期経営計画

なし

10 令和7年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクターの経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクターに対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、外部専門家に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	D	→ BからD評価の法人は(2)へ
<p>【特記事項】 特になし</p>		

## (2) 外部専門家（令和7年度第三セクター評価委員会参加者）の分析・評価

外部専門家の評価
<input checked="" type="checkbox"/> 課題あり <input type="checkbox"/> 課題なし
外部専門家の分析
<b>【上記評価の理由】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 減収・減益が継続しており3期連続で赤字（第24～26期）。赤字幅も拡大傾向で厳しい経営状況にある。</li><li>・ 業況低迷により資金繰りが悪化しており、役員からの借入金注入により、資金繰りを回している状態。資金繰りの状態を示す流動比率がよくない状況。</li><li>・ 任意償却（減価償却を行わないこと）が認められているものの、（費用にできる）減価償却の計上がここ数年行われていないなど会計上の問題が内在しており、減価償却不足分を加味すれば、実態純資産額はさらに小さくなる。</li><li>・ 経営及び施設運営において、代表取締役社長の属人性が高い印象を受けた。</li><li>・ 宿泊事業や田舎体験事業等が減少傾向にある中で経営改善のための戦略、具体策が不足しており、成り行き経営となっているような印象を受けた。</li></ul>
<b>【改善事項等】</b> <ol style="list-style-type: none"><li>① 宿泊者利用減少原因の分析と減少原因についての対策を検討すべき。また、新規顧客の獲得に向け具体的な営業プランを立て、実行し確認と改善を行う、いわゆるPDCAサイクルを行っていくべき。</li><li>② 田舎体験については、利用対象者の見直し及びその対象者に向けた適切な集客方法の検討を事務局と協議すべき。</li><li>③ 資金ショートを起こさないために役員借入を行っている状況であり、結果として役員へ返済しなければならない資金を含めると、資金の流動性の悪化につながることから改善すべき。</li><li>④ 法人の減価償却費については任意償却（減価償却を行わないこと）が認められているものの、第三セクターとして財務状況の確認を行う上では、減価償却費を計上し当期の純利益や純損失へ加味すべき。</li><li>⑤ 将来的に売上高の増加を見込むことは難しい状況にあり、一定の売上高でも経営を維持できるよう、売上が減少する冬季に施設休業や、それに伴う雇用体系の見直しを図るなどダウンサイジングを検討すべき。</li><li>⑥ 属人性の問題解決を図るため、長期経営計画の策定（経営承継、市の設備投資計画など）、業務フローのマニュアル化、見える化を推進すべき。</li><li>⑦ 現経営者が担う業務も多く、努力を重ねて何とか運営をしている状況であるが、高齢でもあり今後の経営改善の取組にあたっては、後継者の育成や経営者の交代も考えるべき。</li></ol>

### (3) 分析・評価結果を受けての対応方針

第三セクターによる対応方針
<p>① 少人数化や飲み放題の増加、酒類の需要の低下など節約思考の宴会スタイルが多くなり、収益性が低下している。宿泊も含めて、リピーターなどの利用者確保に向けて検討していく。</p> <p>② 越後田舎体験事業の売上単価や営業内容は、当社では決めることができない。物価高騰もあり、収益確保が困難なことから、市や越後田舎体験推進協議会事務局に働きかけていく。</p> <p>③ 今年度から指定管理料が増額されているものの、収益性が改善されていないため、宿泊や宴会の単価を検討し、安定的な資金確保に努めることとする。</p> <p>④ 次年度以降、資産状況を踏まえ、税理士と相談し、適切な会計処理を行う。</p> <p>⑤ 施設の条例に基づき営業時間を設定している。なお冬期間休業とした場合、大量降雪時の施設管理が困難となる。さらに、立地環境から、冬期間以外の正規職員の確保に支障となることや現職員の離職にも繋がり、施設運営が困難となるおそれがある。</p> <p>⑥⑦ 経営者の後継を模索しているが難しい状況である。業務の引継ぎは、順次進めている。また、現社長が有する営業力が当社の大きな礎になっていることも踏まえ、慎重に進める。</p>
市担当部署による対応方針
<p>① 宴会スタイルの変化や帰省客利用の減少などにより収益性が低下している。新たな営業戦略の策定など同社の取組を支援する。</p> <p>② 同社の経営に資するよう、越後田舎体験推進協議会事務局とともに売上単価の見直しを進める。</p> <p>③ 収益性の改善による資金確保に向け、同社の取組を支援する。</p> <p>④ 中小企業の会計に関する基本要領に準拠した計算書類を作成するよう指導する。</p> <p>⑤ 冬期間の営業休止については、あらゆる影響を踏まえ、必要に応じて検討する。</p> <p>⑥⑦ 業務の属人化解消に向け、業務のマニュアル化などの取組を支援する。また、総合事務所とも相談しながら人材確保を検討する。</p>

## 第26期 営業報告書

### 概況等

1. 当社は、吉川区の観光拠点である尾神岳エリアに係る諸施設等の管理運営を行うことを主体として、地域課題への対処や地域の活性化に努め雇用の場創出を図ることなどを目的とした第三セクター会社であり、上越市の公共施設運営管理に係る指定管理者として業務開始以来19年間の経過いたしました。
2. 特に、吉川スカイトピア遊ランドは地域の活性化と賑いを創出することを基本として帰省客等の宿泊やスカイスポーツを楽しむ方々、地域住民の入浴休憩、食事、交流の場として利用することを目的として廃校を整備した施設に加え、都市在住者との交流や各種体験等も可能となる体験交流センターを併設された施設であります。
3. 当社では、こうした施設設置の主旨に即した施設の管理運営を基本として、市民活動の支援、助長をする公共施設の運営を行い、また、利用者の意見・要望を反映させるなど、利用者のニーズを生かした運営に努め、地域の拠点施設として管理運営に努めてきています。

こうした施設の特徴を生かして、これまでは越後田舎体験事業等にも積極的に取り組み、HPの活用や口コミ等によるPRに力点を置き、特にリピーター確保を目指し、役職員で協力し合いながら売り上げを伸ばすとともに、コスト削減に取り組むなど経営改善にも配慮しながら進めてきています
4. 一方、当社では地域の諸課題に対応することとしており、上越市の公共交通空白地域における地域バス運行业務委託を受け順調に実施しています。

また、当区の観光振興に寄与する一環として、吉川観光協会の事務局をお願いされ積極的な事業展開や活動に努めています。

更に、スカイスポーツの振興に向け尾神岳スカイスポーツエリア運営委員会を設置・運営を行い、エリア全体の環境整備等に尽力しています。加えて、よしかわ道の駅の活性化に協力するため、尾神そば直売店を設ける等々積極的な活動に努めています。
5. 令和2年の新型コロナウイルス感染症問題が発生以来、宿泊、飲食サービス業を中心に関連業界も含めて苦境に立たされてきていたことはご案内のとおりであり、当社にとっても都会方面からの宿泊客の減少や田舎体験事業の縮小、食事・宴会客の減少等により経営が難しい状況が未だに続いているのが実態であります。

6. これまで、当社では地元雇用を第一義としてきていたものの近年では過疎化の進行が早いため、地元雇用にも限界が生じ、他地区から新たな職員の採用も止むなく、加えて国の方針として最低賃金の引き上げ等が進められる中、当社としても給与改善も行わざるを得ない状況となり人件費が上昇し、更に、世界情勢の変化によるものなのか電気料、燃料代、諸物価の値上がりが続いている為、経営にとっては依然として厳しい状況が続いています。

7. 今期（令和6年度）の営業収益（売上高）は 48,747 千円であり、前期営業収益（売上高）との比較では 2,535 千円の減（約 4.9%の減）となりました。

営業費用については、社会の動勢等を鑑み、働き方改革の一環として人件費の向上に配慮しつつ、お客様にはサービスの低下とならないように水道光熱費等の抑制に努めましたが結果として 52,095 千円となり、営業収益（売上高）を大きく上回る数値となり営業損失は 3,348 千円、税引後の当期純損失額が 3,428 千円となってしまいました。

8. 取締役会の開催につきまして、課題等が生じた場合にのみ必要に応じて開催することとしており、当期は、昨年の株主総会以降 6 月 26 日並びに本年 1 月 7 日と 6 月 14 日に前年同様 3 回開催いたしました。

# 決 算 報 告 書

(第 26 期)

自 令和 6年 4月 1日  
至 令和 7年 3月31日

株式会社みなもとの郷

新潟県上越市吉川区坪野 1 4 5 8  
番地 2

電話 : 026 - 547 - 2221

## 貸借対照表

令和 7年 3月31日 現在

株式会社みなもの郷

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	4,162,062	<b>【流動負債】</b>	5,941,135
現金及び預金	632,178	買掛金	278,416
売掛金	130,120	短期借入金	2,200,000
商品	2,325,806	未払費用	2,114,211
立替金	2,050	未払法人税等	70,000
未収入金	1,036,408	未払消費税等	837,000
仮払金	35,500	預り金	441,508
<b>【固定資産】</b>	5,603,080	負債の部合計	5,941,135
<b>【有形固定資産】</b>	5,602,080	純 資 産 の 部	
建物	2,015,898	<b>【株主資本】</b>	4,035,421
建物附属設備	957,585	資本金	10,000,000
構築物	78,758	利益剰余金	-5,964,579
機械装置	44,728	その他利益剰余金	-5,964,579
車両運搬具	1	繰越利益剰余金	-5,964,579
工具器具備品	2,505,110		
<b>【投資その他の資産】</b>	1,000	純資産の部合計	4,035,421
出資金	1,000	負債及び純資産合計	9,976,556
<b>【繰延資産】</b>	211,414		
開業費	211,414		
資産の部合計	9,976,556		

# 損 益 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日  
至 令和 7年 3月31日

株式会社みなもの郷

(単位： 円)

科 目	金 額	
<b>【売上高】</b>		
売 上 高	48,747,418	
売 上 高 合 計		48,747,418
<b>【売上原価】</b>		
期 首 商 品 棚 卸 高	2,158,788	
当 期 商 品 仕 入 高	10,066,231	
合 計	12,225,019	
期 末 商 品 棚 卸 高	2,325,806	
売 上 原 価		9,899,213
売 上 総 利 益 金 額		38,848,205
<b>【販売費及び一般管理費】</b>		
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 合 計		42,207,276
営 業 損 失 金 額		3,359,071
<b>【営業外収益】</b>		
受 取 利 息	772	
営 業 外 収 益 合 計		772
経 常 損 失 金 額		3,358,299
税 引 前 当 期 純 損 失 金 額		3,358,299
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税		70,000
当 期 純 損 失 金 額		3,428,299

## 販売費及び一般管理費内訳書

自 令和 6年 4月 1日  
至 令和 7年 3月31日

株式会社みなもとの郷

(単位： 円)

科 目	金 額
給 料 手 当	27,630,299
法 定 福 利 費	2,149,089
福 利 厚 生 費	301,358
外 注 費	794,280
広 告 宣 伝 費	78,726
通 信 費	392,064
消 耗 品 費	1,099,222
修 繕 費	216,356
水 道 光 熱 費	5,783,039
諸 会 費	103,660
支 払 手 数 料	158,108
車 両 費	738,452
賃 借 料	743,708
保 険 料	151,700
租 税 公 課	1,731,904
雑 費	135,311
販売費及び一般管理費合計	42,207,276

## 株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

自 令和 6年 4月 1日  
至 令和 7年 3月31日

株式会社みなもの郷

(単位： 円)

【株主資本】			
資 本 金	当期首残高		10,000,000
	当期末残高		10,000,000
利 益 剰 余 金			
そ の 他 利 益 剰 余 金			
繰 越 利 益 剰 余 金	当期首残高		-2,536,280
	当期変動額	当期純利益金額	-3,428,299
	当期末残高		-5,964,579
利 益 剰 余 金 合 計	当期首残高		-2,536,280
	当期変動額		-3,428,299
	当期末残高		-5,964,579
株 主 資 本 合 計	当期首残高		7,463,720
	当期変動額		-3,428,299
	当期末残高		4,035,421
純 資 産 の 部 合 計	当期首残高		7,463,720
	当期変動額		-3,428,299
	当期末残高		4,035,421

## 注 記 表

株式会社みなもとの郷

### 重要な会計方針に係る事項に関する注記

資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法を採用しております

固定資産の減価償却の方法

定額法又は旧定額法及び定率法又は旧定率法を採用しております

会計処理の原則又は手続きの変更

消費税の会計処理は税込方式を採用しております

## 監査報告書

第26期決算監査の結果、貸借対照表、損益計算書および利益処分について、いずれも適法かつ正確であることを認めます。

令和7年6月14日

株式会社みなもとの郷

監査役 中 村 久 人 

## 第27期 事業計画

株式会社 みなもとの郷

1. 当社の経営は、施設が山間地に存するという立地条件に加え行き止まりという交通条件の不便さ、加えて積雪が多く、過疎化・人口の高齢化が急速に進む地域の中で、役職員の相互協力による営業努力と経費削減に努め、地域の皆さんの協力をいただきながら地域活性化の中核会社と位置付け、これまでと同様にスカイトピア遊ランドの管理運営業務を主体として諸事業等の持続性を第一義に考えて進めて参ります。

2. 地域バスの運行業務、よしかわ道の駅におけるソバ直売店の運営、吉川観光協会の業務、尾神岳スカイスportsエリアの運営等々に加え、遊ランドが市の指定緊急避難場所とされていること等を鑑み、地域住民の安全・安心にも配慮するなど引き続き地域の諸課題にも対応しつつ、これまでの事業を参考に各種事業等を積極的に展開し、雇用の場の創出と地域の活性化に配慮しながら、地域福祉の向上に貢献して参ります。

また、令和4年度から市の指定管理施設で無くなった吉川緑地等利用施設の内、スーパースライダーと見はらし荘については、尾神岳観光エリアの中にあり、まだ利用可能な施設であるとして、市と協議の結果当社が独自に管理運営を行って来ましたが、施設の老朽化や経営リスクが余りにも高くなった為令和7年度より止むを得ず事業休止することと致します。

3. コロナ禍が収束して「新しい生活様式等」がどんどん変わりつつある中、世界的にも政治経済問題などによる不安定さが大きく伝えられ、国内では人件費をはじめ諸物価や光熱水費に至るまで値上がり傾向が続いています。

こうした中ではありますが、中心施設のスカイトピア遊ランドは地域活性化の拠点施設としての位置付けにあることを確信し、当社の経営についても真剣に検討を重ねながら事業の継続化が図られるように取り組んで参ります。

4. 収支計画については次葉のとおりこれまでの実績を考慮しながら負債の段階的解消に向け計画いたしました。いずれにしても、リピーターの皆さんを中心に新規誘客にも力点を置きながら、日常的に市との協議・連携をより一層深めながら事業の持続化に努めて参ります。

## 第27期 収支計画

(単位:千円)

### (収入の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
利 用 料 金	39,200	38,000	1,200	入浴、宿泊、宴会、食堂等の利用料金
受 託 料	14,974	10,742	4,232	指定管理者等受託料(遊ランド、地域バス)
雑 収 入	3,026	7,358	-4,332	売店、自主事業等収入
合 計	57,200	56,100	1,100	

### (支出の部)

科目	本年度計画額	前年度計画額	増 減	備 考
給 料 賃 金	29,000	29,800	-800	遊ランド、地域バス等
法 定 福 利 費	2,800	2,100	700	社会保険料、労働保険料
福 利 厚 生 費	200	300	-100	通勤手当、職員研修費
租 税 公 課	1,700	1,700	0	法人税・住民税・消費税
諸 会 費	320	140	180	商工会費、食品衛生協会費等
仕 入	10,300	9,800	500	
水 道 光 熱 費	5,900	5,600	300	水道、電気、ガス代
旅 費 交 通 費	20	20	0	
通 信 費	450	420	30	電話代、切手代等
広 告 宣 伝 費	80	110	-30	広告掲載料、HP管理費等
接 待 交 際 費	30	50	-20	
損 害 保 険 料	100	140	-40	食中毒保険等
修 繕 費	200	200	0	施設・設備修繕料
消 耗 品 費	900	1000	-100	事務消耗品等
減 価 償 却 費	100	200	-100	
車 両 掛 費	600	500	100	車燃料代等
支 払 手 数 料	200	190	10	記帳指導料等
環 境 衛 生 費	400	300	100	ゴミ収集等
設 備 保 守 料	600	600	0	浄化槽、消防設備等
賃 借 料	250	150	100	車両、設備リース
雑 費	140	140	0	テレビ受信料他
予 備 費	100	100	0	
合 計	54,390	53,560	830	